

## 消防技術研修会に参加して

第一貨物株式会社仙台東支店 會津 亜規

私ども第一貨物は昭和16年に会社を設立以来、お客様と共に物流を通して社会を支え、今年度創立84年を迎えます。特別積合せ事業を中心とした物流という社会インフラを担い、輸送品質の一層の改善を図りながらお客様のニーズに合ったサービスを提供して参ります。

私は第一貨物株式会社仙台東支店で6月より防火管理者を務めています。当支店は物流を担う事業所として多くの車両と物流センターを管理しており、火災や災害時の安全確保は最重要課題と感じております。

このたび、若林消防署と共催で実施する消防技術研修会に参加し、消火器や屋内消火栓の取り扱い、救急訓練、災害VR体験、講習を受講しました。研修会は火災発生時の初期対応を中心に実践的な内容で構成されていました。

まず、救急訓練では三角巾を使用した止血・応急処置を体験し、緊急時の対応力を高める重要性を再認識しました。続いて、屋内消火栓の取り扱いを学び、ホースの延長や放水操作を体験しました。さらに、消火器の種類や使用方法について説明を受け、実際に模擬火災を想定した消火訓練と濃煙体験を行いました。最後の講習では事業所における防火体制の整備や社員教育の重要性について学びました。

救急訓練では応急処置を学び、三角巾1枚で様々な処置ができることに感心を覚えながら、いざという時に行動できるよう定期的に訓練を重ね、処置を身につけることの大切さを学びました。

屋内消火栓の操作では、ホースの重量や水圧の強さに驚き、二人以上での協力が不可欠であることを実感しました。

消火器訓練では、実際に火元を狙って消火する際の距離感や姿勢が重要であることを体感しました。特に、初期消火は「火が天井に届く前に行く」ことが鉄則であり、迅速な判断が求められることを改めて認識しました。

VRを活用した地震体験では、ゴーグルを装着し、震度6強の揺れを再現した映像を体験することで、実際の地震時にどれほど身動きが取れなくなるかを実感しました。家具の転倒やガラスの飛散など、現実に近い映像と音響により、日常の備えの重要性を強く感じました。特に、揺れが収まるまでの「身を守る姿勢」や、避難経路の確保がいかに大切かを学び、事業所内の安全対策を見直す必要性を再認識しました。

講習では、火災を未然に防ぐための点検や社員教育の徹底が最も重要な防火対策であると強調されていたことが印象的であり、防火管理者としての最重要課題であると感じました。

